

あなたの夢を、暮らしを応援する住宅情報紙



かふう

毎週金曜日発行

2010.7.30

Vol.252

新報リビングニュース



目次

こんな家に住みたい
那覇市 伊良波さん宅

こだわりのガレージで趣味を満喫

チャレンジ
25



こんな家に住みたい
那覇市 伊良波さん宅

こだわりのガレージで 趣味を満喫

趣味のオートバイ用のガレージをはじめ、
細部にこだわってスタイリッシュな家づくりを
目指した伊良波さん。
眺望の良さを生かした、
コの字型の開放的な住まいで
家族団らんを楽しんでいます。



アプローチから建物を見る

コンセプトはシック&インパクト

十代のころから家建て
る夢を持ち続けていたとい
う伊良波さん。四年前、住
んでいたアパートの立ち退
き話が引き金となり、三十
代にして夢を実現させまし
た。

「新たにアパートを借りる
より、家を作るほうを選
びました。コンセプトはシ
ック&インパクト。妥協は
絶対にしなくなかった。オ
ートバイが好きなので、特
にガレージにはこだわら
ました」

眺めの良い高台の土地を
親から譲り受け、建築士を
決めるに当たっては数多く
のオープンハウスを見学し
て、複数の建築士の作品を
検討しました。そして、そ
の力量に全幅の信頼を寄せ



床下18cmの位置にコンクリートを張り出して造った浮遊感のあるキッチン。映り込む材質のステンレスで覆って、より軽やかなイメージに

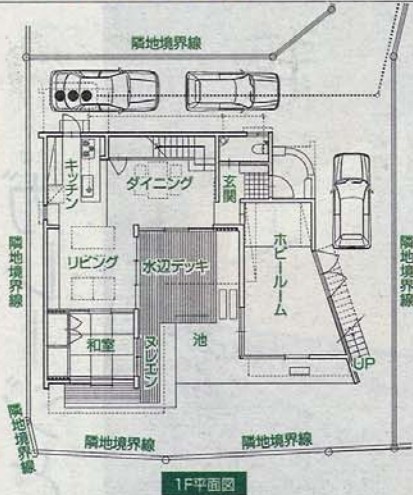
て実入への依頼を決めたそ
うです。
最初の打ち合わせで、伊
良波さんが真っ先に相談し
たのは家の形でした。
「漠然としたイメージで、
紙面に家の形を○・□・
△、あるいはH・J・コの
字型などで描いて見せたら
あきれ返っていました」と
苦笑い。眺望や風の向きを
考慮した結果、コの字型の

造りを選択。RC造二階建
ての階層を公私に分け、一
階にガレージとリビング、
キッチン、和室などを、二
階には寝室や子ども室、水
回りなどを配しました。
「とにかくスタイリッシュ
な家にしたかった。一階は、
細部にこだわってシックに、
娘二人の部屋もある二階は
優しい色合いでナチュラル
にまとめました」

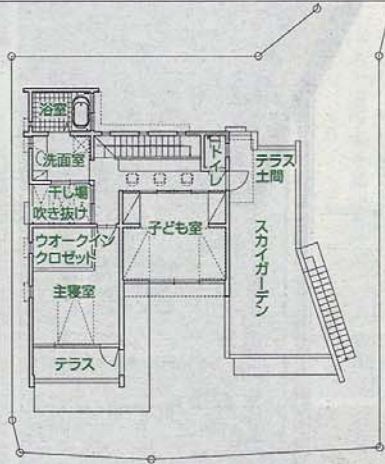


1. ガレージの壁はコンクリート打ち放し、室内は土間敷きで作業場風に。写真にはありませんが、手前に2畳ほどのフローリング敷きのスペースを設けています
2. 庭で伸び伸びと遊ぶ子どもたち。池の水は屋根から雨水を引いています
3. 和室。つり戸棚の表装は和紙を使用。居室の壁はすべて漆喰仕上げです
4. ダイニングの背面は吹き抜けの階段でトップライトを設置。上からの光が突き当たりの壁に映り込んでいます
5. 大開口で室内とデッキをひとつなぎりに。眺めの良さを生かした、明るく開放的なLDKです





1F平面図



2F平面図

所在地	那覇市
家族構成	夫婦、子ども二人
設計	(有) 義空間設計工房 一級建築士事務所 伊良波朝義、新垣朝憲
敷地面積	303.56㎡ (91.8坪)
建築面積	100.28㎡ (30.3坪)
延床面積	149.48㎡ (45.2坪)
構造	鉄筋コンクリート造2階建て
用途地域	第1種低層住居専用地域
完成時期	2008年11月

DATA

- 施工 / (株) 比嘉組 大城正 ●電気 / 大嶺電気工事 大嶺猛
- 水道 / (有) 前田設備 前田勲 ●キッチン / (有) モブ 照屋涼子

「ガレージ・池・浮遊型キッチン」を「コ」の字に集約

アプローチから伊良波さんの家を見ると、開口が抑えられ閉じた印象がありますが、室内に入ってみると眺望の開けた南東側に大きな開口があり、開放的な造り。コの字に囲まれた部分にはウッドデッキを敷き詰めた雨端の浅い池があり、泳ぐ水深の浅い池があります。コの字型のうち、L字型に繋がった二辺部分に生活空間が置かれ、残り一辺がガレージです。

「ガレージだけは作業場のイメージでコンクリート打ち放しにしたのですが、音が反響するのは問題。建築士に相談したら、吸音効果のあるグラスウールを天井に張るようにと勧められました。オートパイ台などの設備はすべてイタリア製のです。ガラスは紫外線・赤外線遮へい性能のあるフィルムを使っています。池に面して設けた開口はガラス張りなので、趣味に興じながらも家族の気配が感じ取れます。

「建材などを厳選し、家具にもこだわり、食器類も家のスタイルに合わせてすべて買い替えました。嫁さんはそれが楽しかったみたいです。今後の目標はこの家の維持管理です。新築の状態を保ちたくて暇があればどこかを磨いています」と手入れに余念がない伊良波さん。マイホームの実現で自宅に帰る楽しみが増したそうです。



右／階段横の廊下を広げてホビールームに。階段上部のトップライトからの光で明るく開放的に
左／洗面室と物干し場。物干し場は吹き抜けてトップライトから光を取り入れています



ガレージと生活空間につながるりを持たせる

宙に浮いたキッチンで空間に広がりをもつ——建築士・伊良波朝義さん談

ヒヌカン（火の神）供えるシンプルな場所を



キッチンにヒヌカンを祀（まつ）りたいという施主のために、シンプルかつスマートな供え場所を造ることにこだわりました。レンジの横に置かれているのをよく見掛けますが、できれば台所の前面に置きたい。対面式キッチンの場合は特に難しいのですが、この家の場合には御影石の板を渡して供え場所を確保し、あまり目に付かないように工夫をしました。



伊良波朝義さん

■(有)義空間設計工房 一級建築士事務所
代表取締役 伊良波朝義
那覇市宇真地169番地1 ☎098-888-5303
http://www.gikuukan.com/

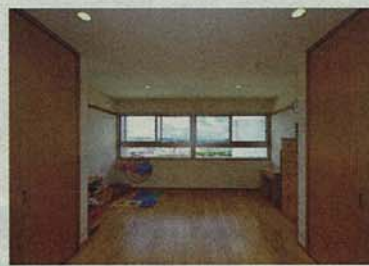
こだわりのガレージで
趣味を満喫

施主のもう一つのこだわりは、インパクトのあるキッチンでした。生活空間であるL字型の要の部分にキッチンをどんと据えるのではなく、空間に溶け込むよう軽やかに浮かせることを提案しました。さらに映りこむ材質のステンレスを使うことで存在感を消しています。

アパートの立ち退きを機に、親の所有する土地に親兄弟の四世帯で同時期に家を作ることにになり、すべての設計を私が担当しました。そのため互いのプライバシーを尊重して、それぞれ家の向きや窓の配置などを決めることができました。例えばこの家の場合、二階の浴室の窓は向かいの家から見えない場所に置かれています。またガレージの外側の壁は隣家と向かい合った場所にあるので、窓は最小限に抑えました。

ガレージにこもることが多いと思いますが、常に家族がお互いを気に掛けていられるような造りになったと思います。またガレージ部分はすべて土間にして広く使いたいとの要望がありましたが、二畳ほどをフロアリングにして生活空間と連続性を持たせました。実はコの字型といっても、

ガレージ側は対面する側より短くしてあります。沖縄はほぼ南東から風が吹きます。両側を同じ長さにするのと、ガレージの壁が風の通りを遮ってしまいます。南東側の大開口から引き込んだ風を、キッチン側の勝手口や吹き抜けの階段から逃がすことで室内に熱がこもるのを防いでいます。



上／子ども室。将来は仕切ること
下／主寝室。ピクチャーウィンドーで眺めの良さを生かしています